

# 変形性膝関節症～手術について～



手術の目的は？

膝関節の軟骨同士のぶつかり合いによる痛みに対する除痛。(歩行や立ちかがみ時の痛みなど)

手術の適応は？

X線上、関節軟骨のすり減りが強く、骨と骨の間隔が狭くなって痛みを感じる状態にある。

どんな手術か？

大きく分けて3種類あります。

膝関節のどこがどのくらいすり減っているのかで選択されます。

**人工膝関節全置換術 (Total Knee Arthroplasty:TKA)** -膝関節全体を人工物に置換する



**人工膝関節単顆置換術 (Unicompartmentmental Knee Arthroplasty:UKA)**

-膝関節の一部を人工物に置換する



## 高位脛骨骨切り術 (High Tibial Osteotomy:HTO)

-O脚・X脚を矯正するようにすねの骨を切り、膝関節内側あるいは外側への負担を均一化する



### 手術後の膝の曲がりとは？

人工膝関節全置換術後では、人工関節の構造上、正座が困難になります。

(人工関節の種類によって異なる)

人工膝関節単顆置換術後では、人工関節に起因する膝の動きの制限は生じません。

高位脛骨骨切り術後では、人工関節の挿入もなく手術による膝の動きの制限は生じません。

\*手術後の膝の伸びやすさや曲がりやすさは、手術前の元々の膝の状態の影響を受けやすい

### 手術後の経過は？

- ・人工膝関節全置換術後・単関節置換術後では、数日後より部分荷重歩行が可能となります。切開した皮膚や筋の状態、痛みや腫れの状態に応じて可動域訓練や筋力訓練を進めていきます。
- ・高位脛骨骨切り術後では、切った骨の治癒が必要となるため、おおよそ6-8週後に全荷重歩行となります。

### 手術後の理学療法

痛みや腫れに応じた物理療法(寒冷療法や電気療法)、膝関節可動域運動や膝関節周囲筋筋力増強運動を行います。また、膝にかかる負担を減らすために、足関節や股関節など膝以外の関節と膝の協調性を高める運動などの運動療法を行います。

